

## 森林・林業再生基盤づくり交付金（新規） ＜うち、林業担い手等の育成確保＞

【平成25年度概算決定額 1, 612, 164（0）千円の内数】

### 事業のポイント

林業労働力を安定的に確保する観点から、林業労働に係る各種対策を効果的かつ効果的に実施します。

#### （林業就業者確保・育成の現状）

- ・新規就業者の確保・定着には林業事業体の育成及び安全への取組等が課題となっています。

#### （林業労働安全の現状）

- ・林業における労働災害の発生頻度は、依然として他産業に比べて著しく高い状況にあります。 死傷年千人率（H22年）：全産業2.1、林業28.6
- ・死亡災害のうち伐木作業による災害が多くなっています。

（H23:38人の死亡者のうち21人）

### 政策目標

林業労働死亡者数を減らします。

＜平成19年度 50人 → 平成27年度 35人以下＞

#### ＜内容＞

##### 1. 林業担い手の確保・育成

林業事業体の経営の合理化を促進し、森林整備を担う人材を確保・育成するため、以下の取組に対して助成します。

- ① 林業経営の合理化指導及び高性能林業機械のメンテナンス等の講習会実施
- ② 地域の実情に応じた林業就業者に対する技能研修等の実施

##### 2. 林業労働災害の防止

森林整備を担う林業就業者の安全かつ適切に作業ができる労働環境をつくるため、以下の取組に対して助成します。

- ① 実践的伐木作業技術や高性能林業機械等の災害防止のための現地研修会等の実施
- ② 安全管理指導専門家等の養成及び安全衛生改善対策セミナーの実施
- ③ 振動障害予防対策や蜂毒に対する認識及び危険性の普及啓発

#### ＜交付率＞

定額（1／2）

#### ＜事業実施主体＞

都道府県、林業労働力確保支援センター、  
林業・木材製造業労働災害防止協会都道府県支部

#### ＜事業実施期間＞

平成25年度～29年度（5年間）

[担当課：林野庁経営課]